

授業科目等の概要

令和6年度(服飾専門課程ファッションビジネス科1年)																
分類		種別	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○	-	総論	現代ファッション史	ファッションをビジネスとして捉えた際に、他人が見て素敵!と思えたファッションは歴史として残っていると考えられる。そのことを考えると、「売れる」、「人気のある」、「ファッションの流れを変えた」などのファッション史に名を刻むデザイナーの考え方や商品の持つ力を知り、『どのように今のトレンドに活かされているのか』を多くのデザイナーの軌跡をたどる中で理解することを目標とする。そうする中で、将来、商品セレクトや販売力として発揮できるようにしたい。	1前	20	-	○	○		○					
○	-		アパレル商品知識	ファッションアイテムの知識を、自身のワードローブを起点として学習する。ファッションビジネス能力検定3級のファッション造形知識に該当する知識を、営業、販売、ECなど実際のアパレルの現場で使える様に身につける。またシルエット、ディテール、名称などの基本知識だけでなく、そのアイテムが生まれた時代背景などの関連知識から学ぶことで、ファッションに対する造詣を深め、自身の得意分野と言えるように学習する。	1前後	50	-	○	△		○					
○	-		アパレル素材Ⅰ	ファッションビジネス能力検定3級の素材知識を中心に、アパレルで使用される素材、および生地知識を身に付ける。原材料、組成の知識から始まり、生地の特性、また加工で得られる効果など性質的な知識と、柄や染色によって得られる感覚的知識を習得する。講義授業だがサンプルを用いながら説明することにより、販売の現場に近い感覚で習得できるように授業を行う。またお直しの知識もテキストに準じて行う。	1前後	40	-	○		△	○					
○	-	デザイン	パーソナルカラーⅠ	似合う色の見つけ方、色分類方法などのパーソナルカラーの基本から、自己演出だけではなく、人へのアドバイス方法やビジネスへの活用法などの応用まで、総合的に学ぶ。ファッション、プライダルの現場など人と関わる仕事の様々な場面で活躍できる「カラーアドバイザー」を目指す。	1前後	40	-	○	△	△	○				○	
○	-		プロモーションデザインⅠ	グラフィックⅠで習得したAdobe PhotoshopとIllustratorの基本的な技術を利用して、店舗計画において必要なCI、SIの基礎知識を基にショップロゴデザイン、店舗販促ツールデザイン、その他アプリケーションをデザインし、店舗計画のヴィジュアル面での表現を学ぶ。ショップのコンセプトやイメージの情報を伝える手段としてのデザイン力を養う。柄・DM・ポスターを制作するための基礎デザイン力を身に付ける。	1後	30	-	△	○	○	○					
○	-	企画	プロデュースⅠ	ファッションビジネスの基本である消費者のニーズの多様化、競合商品や競合小売業の乱立など問題が山積している情報社会の現代で、何をどれだけどんな方法で消費者に沿って販売するのかというリテールマーチャンダイジングについて理解する。そして、グループワークを通して企画演習を行い、ショップ作りに重要なSTPステップを理解し、文化祭ならびに進級時の職業実践専門課程授業でショップ作りを実践できる力を身につけることを目標とする。	1前後	240	-	○		○	○					○
○	-	パソコン	グラフィックⅠ	Adobe Photoshop(ラスター)を使い、テーマにあった効果的な画像処理(色調補正・画像切り抜き・フィルタ効果・描画モード等)や自分の思い描くイメージマップ作成などの演習を通じグラフィックデザインの基礎を学ぶ。またAdobe Illustrator(ベクター)を理解し、デザインを行うための基礎を中心に授業を進める。アイテムの平面画・柄・DM・ポスターを描くための基礎力を身に付ける。	1前	60	-	△	△	○	○					

○	-	コーディネート	ファッション コーディネート I	ファッションアドバイザーに必要なスキルとして、ファッションの基礎知識を元にトレンドやテーマに沿ったコーディネートを組みます。色や素材、トレンド、お客様のなりたいイメージを可視化することで信頼を得られる知識を身につけます。また、そのコーディネートをお客様へのセールストークとして提案できるよう、StylingMap検定ジュニアレベルを取得します。また後期に同協会の主催するスタイリング動画コンテストへの出品も行います。	1 前後	60	-	○	△		○	△		○
○	-		カメラワーク I	企画書、販促物に活用するカメラワークの基礎知識を習得し、プランニングに沿ったカメラワークをこなせるように実習形式で行う。DTP、Web等、活用する媒体に合ったカメラワークも習得する。	1 前後	40	-		○	○	○	△		○
合計					17 科目	単位時間 :		1,020		時間				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
指定された教室及び実習を通して、知識・技術を習得する。 前期試験（9月）、後期試験（進級試験）及び、各科目の提出物、出席で評価。		1学年の学期区分	前・後期
		1学年の授業期間	全42週
進級クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを23週とする。 卒業クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを22週とする。			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。